第70回春季東北地区高等学校野球宮城県大会 5月27日(土) □大会第6日目
 石 彦 市 民 球場
 1 時間 44 分

 陵 0 1 0 1 0 0 0
 0 0

 英 4 0 2 0 0 2 1X
進決勝 ▽本塁打 (一) 雁部博昭 (二) 沼辺力也 (三) 浅野雅訓 ▽三塁打 山田(仙) 細田 ▽暴投 鈴木1(東) ▽捕逸 なし 育 英 】 東 陵 1 打数 安打 打点 仙 台 打数 安打 打点 (中) (遊) 橋本 航河山田 脩也 鈴木 拓斗 一 0 打 (左) 0 沼田 和丸 飯塚 祐太 佐藤 悠斗 <u>住石</u> 孝雄 佐々木 広 0 0 (遊) 武藤 陽世細田 悠真 佐藤 八 巻 新沼 空天 眞壁 悠斗 0 | FTR | BURR | NORM | 佐々木 広太郎 19 62 4 0 7 0 1 0 3 0 0 0 0 2 2 佐藤 悠斗 鈴木 結麿 眞壁 悠斗 武藤 陽世 11 47 3 0 9 41 0 0 6 0 0 0 0 0 0 準決勝、仙台育英と東陵の一戦。初回、東陵は無死一、二塁の好機で4番金澤、5番奥山が凡打でた おれ無得点に終わった。その裏、仙台育英は1番橋本の左線二塁打、犠打失策で無死一、二塁とする と3番鈴木の中前適時打で先制した。続く5番濱田、6番湯浅の連続適時打で4点を挙げた。3回裏に は3番鈴木、5番濱田、7番住石の長短打で2点を挙げ試合を優位にすすめた。その後も6回、7回と得点 を重ね、9対2の7回コールドで試合を決めた。東陵は2回表、6番楡井の中安打、8番飯塚のバント 安打で一死二、三塁とすると1番今野の右前適時打で1点を返した。4回にも安打と犠打を絡めて1点 を返すが、5回以降、仙台育英2番手武藤に無安打に抑えられ、悔しい敗戦となった。

単決勝 山 台 商 業 0 0 0 3 山 台 第 一 0 0 1 0 (球) 西城 皇祐 (一) 西山 月 阿波 【一】 千葉,安藤 ▽暴投 なし	2 0 0 0 0 0 0 0 0 1 E (二) 菅原 幸 (三) 大槻 充夫 -) 5	打 【商】34 【一】28 ▽本塁‡ ▽三塁‡	6 4 1 4 2 0	犠 <u>2 2 2 3 3 3 3 ななななた体</u> 野,佐棒	6 0 0 5 5 0
【 仙 台 商 業 】 (左) 只野 修登 (二) 古川 雄康心 (市) 熊坂 勇 (中) 熊坂 璃 (一) 郷家 璃 (三) 佐々木 (捕) 佐藤 志太 (遊) 櫻井 順基 (投) 阿波 壮汰	打数 安打 4 0 4 1 4 2 3 1 4 1 4 0 3 1	打点 0 0 0 1 0 2 1 0 0	(中) (三) (左) (二) (捕) (一) (右) 打(遊) (投) 投	第一、基本 第一	打数 3 3 3 4 4 2 2 1 3 2	安打 0 1 1 1 0 0 0 0 0 0	打点 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 0 0
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 1 0 1 0			

準決勝第2試合は、仙台商業の先発阿波が散発4安打で完投し、14大会ぶりの東北大会出場を決めた。先制したのは仙台第一、3回に安打で出塁した千葉を、3番髙橋彪の犠飛で得点する。追う仙台商業はすぐさま4回、3番菅野の右翼線への二塁打の後、6番佐々木の左中間を破る2点適時打等でこの回3点を奪った。また、5回には4番熊坂の適時打等で2点をあげ、引き離した。仙台商業の先発阿波は9回に追加点を与えたものの、仙台第一に連打を許さず5対2で逃げ切った。仙台第一は、失策による出塁や進塁を許したことが失点につながり、明日の第三位決定戦への課題となる反面、継投した安藤が、4回を1安打に抑える好投を見せたことは好材料であった。